

腎臓内科

(2024年3月在職者名)

腎臓内科部長	吉田 鉄彦
腎臓内科医長	高江 啓太
腎臓内科医師	落合 由佳

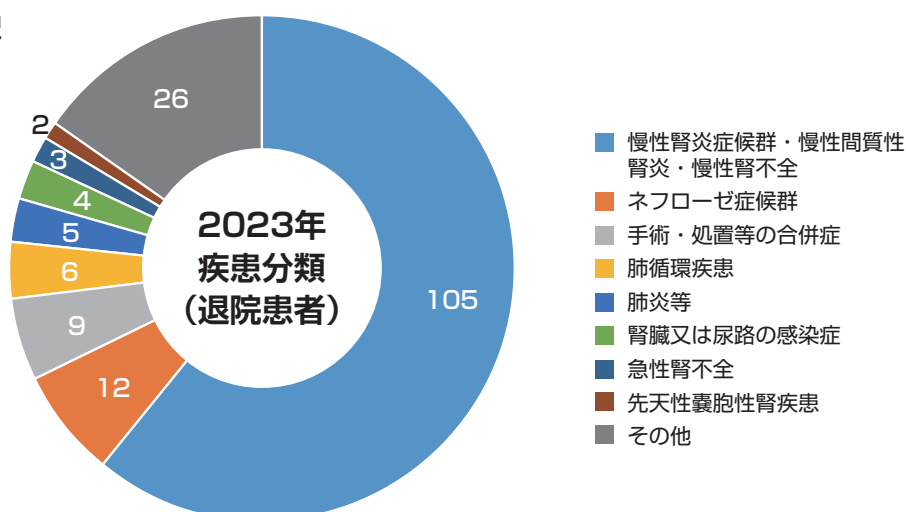
▶ 活動内容

当院では、尿異常から慢性腎不全の管理、末期腎不全に至った場合の血液透析導入および維持透析、腹膜透析まで、さまざまな病期、状態の腎臓病患者さんを診察している。

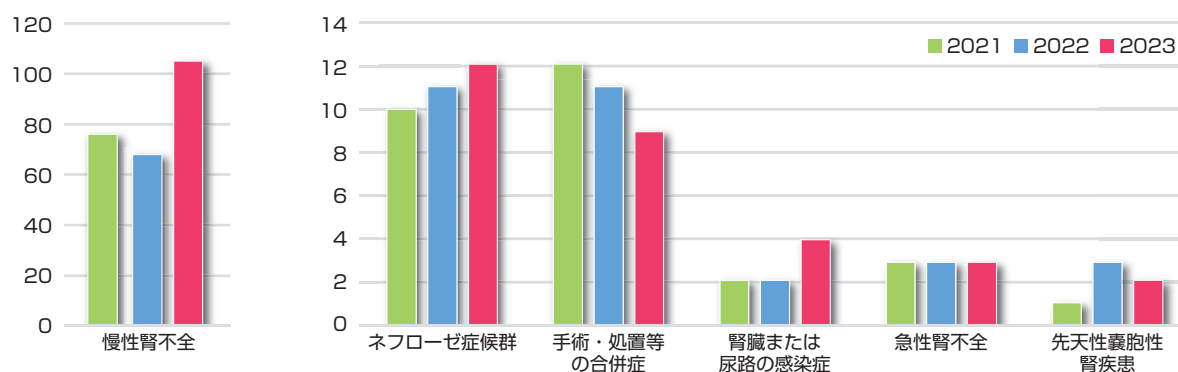
- 蛋白尿や血尿を指摘された方に対しては、状態をよくお聞きし、必要に応じて九大病院と連携して腎生検による組織診断を行い、治療を行っている。
- 尿異常や腎機能障害が3カ月以上続いている、いわゆる慢性腎臓病の患者さんに対しては可能であれば一週間程度の教育入院を行っていただき、現在の状態を把握し、医師、看護師、栄養士から、状態に応じた薬物療法、食事療法、生活指導などを患者さん個別に行っている。
- 腎不全が進行し、代替療法としての透析が必要になった場合はご本人やご家族とよく相談し、血液透析あるいは腹膜透析を導入しており、透析患者さんの合併症による入院治療も、他科と連携をとりながら行っている。また、シャント作成だけでなく、シャントトラブルに対するPTA（経皮的血管形成術）、シャント再建術も行っている。

これまで、検尿異常、あるいは腎機能低下がありながら、まだ一度も腎臓内科専門医による診察を受けていない場合はご相談頂きたい。患者さんの状態を把握した上で、かかりつけの先生と連携をとりながら、腎機能がまだ安定している場合は通常はかかりつけの先生に、当院には3～6カ月に一度程度の受診をお願いしている。腎機能が悪化した場合には、1～4週間おきに当院を受診していただいている。腎臓内科の外来は月～金 毎日行っている。

▶ 入院患者 内訳



▶ 疾患別入院患者 年次推移



▶ 外来患者数

	2021	2022	2023
新 患	131	148	148
再 来	10,248	9,769	9,186
計	10,379	9,917	9,334

▶ 入院患者数

	2021	2022	2023
入 院	132	138	167
延べ患者数	2,715	2,693	3,321
平均在院日数	17.6	16.9	17.8

▶ 手術実施件数

	2021	2022	2023
手術総数	55	39	37
内シャント設置術	20	18	33
人工血管挿入術	8	3	3
上腕動脈表在化	3	1	1
長期留置カテーテル留置術	14	11	10
長期留置カテーテル抜去術	5	3	2
腹膜透析カテーテル留置術	2	0	5
腹膜透析カテーテル抜去術	2	1	0
その他	1	1	3

▶ 入院患者年齢構成

年齢	2021	2022	2023
10歳未満	0	0	0
10代	1	1	1
20代	4	6	4
30代	6	2	8
40代	6	13	13
50代	13	9	19
60代	25	31	28
70代	37	50	60
80代	36	19	29
90以上	4	7	5
計	132	138	167

▶ 地域別紹介患者数

		2021	2022	2023	平均
福岡市	中央区	141	158	135	145
	東 区	33	53	52	46
	早良区	29	19	35	28
	博多区	26	30	30	29
	西 区	47	16	29	31
	城南区	49	15	27	30
	南 区	11	13	26	17
福岡市計		336	304	334	325
糸 島 市	17	19	26	21	
糟 屋 郡	19	7	19	15	
県 外	3	9	8	7	
大 野 城 市	2	0	8	3	
春 日 市	3	2	6	4	
太 宰 府 市	4	0	4	3	
宗 像 市	2	0	3	2	
那 珂 川 市	4	4	2	3	
飯 塚 市	1	0	2	1	
久 留 米 市	1	4	1	2	
古 賀 市	0	1	1	1	
そ の 他	8	9	3	7	
総合計		400	359	417	392

(腎臓内科部長 吉田 鉄彦)